



- 新年のごあいさつ
マヤカシに騙されないために「ジェンダー平等」を再考する 2
メディアや政治の世界で「ジェンダー平等」「LGBTQ」が登場するなかで、自治体行動計画から「男女」が消える動きが広がっています。新年を迎え、改めて北京行動綱領の原点に戻り、「ジェンダー平等」の意味を再考しようとの船橋邦子代表からのメッセージです。
- 北京会議・行動綱領の今日的意義とジェンダー差別撤廃の課題 3
タイトルが示すように、国際女性の地位協会共同代表で、長年 JNNC や OPCEADAW の中心メンバーである矢澤澄子さんからの、女性差別撤廃条約・行動綱領に立脚した包括的な現状分析とジェンダー平等実現に向けての貴重な問題提起です。
- ユースによる環境・ジェンダー課題への取組と提言 5
気候変動など環境問題を含めて既存の生活に問題意識を持ち、アクションをおこなうことが若者の間で、ニューノーマルになっているという、そのお一人で、リーダーの倉石東那さんに国内外の動きや今後の展望について執筆いただきました。
- コロナ禍における女性たちの連帯 — 支援の現場から 6
「女性による女性のための相談会」が、女性の窮状を自分事として捉え、支援とは、女性の連帯とは何か、を考える女性たちによって昨年暮れから新年にかけて大久保公園で催されました。実行委員でジャーナリストの松元ちえさんの報告です。
- 諦めずにやるしかないと自分に言い聞かせて！ 7
1996年当時、女性議員が最下位だった鹿児島で「鹿児島県内の女性議員を100人にする会」を立ち上げ、女性議員を増やすことに奮闘してこられた南さつま市市議会議員、平神純子さんによる地域からの発信です。
- 女性の人権～複合差別／差別の交差性をめぐって 8
北京会議前からマイノリティ女性の複合差別に取組み、北京会議、反人種主義・差別撤廃世界会議（ダーバン会議）を経て、現在、ダーバン+20：反レイシズムはあたりまえキャンペーン共同代表の藤岡美恵子さんからのフェミニズム運動のマイノリティ女性への問いかけです。
- オンライン学習会、世話人会、加盟団体ほか 10